

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立額小学校] 担当教諭名 [落合 一徳] (6年2組 28名)

交流相手国 [パキスタン]

海外学校名 [Springfield Public School and College] 担当教諭名 [Ayesha Shahid / Maaria]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢を知り、日本を知り、世界を知ろう	30

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	金沢とパキスタンの絆
絵に込めたメッセージ	お互いの都市の文化や自然、歴史を描いた。金沢の伝統や魅力を伝えるとともに、お互いに虹を描き両国の文化をつなげたい気持ちがあった。左右に分かれた壁画だが、虹によって両国の交流を意識させようとした。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの作業グループで協力して作業した。 調べたことを、分かり易く伝えるため、工夫することができた。 パキスタンという国に興味をもった。自分たちが当たり前だと思っている暮らしが海外では当たり前ではないと気がついた。 	<ul style="list-style-type: none"> スタートの時点での基本スケッチの食い違いが最後まで尾をひいて統一感のないデザインになった。 テレビ会議の際、音声が入らなかつた。 交流のねらい、学ぶべきことについて、もっと児童の間で強く意識させたかった。長期間にわたることで、集中力に個人差が生まれていた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> パキスタン出身であるマラユスフザイさんの本の読み聞かせを通して、普通に学ぶことの喜びや教育の大切さについて考えることができた。 日本と大きく違う環境でもたくましく生きている子どもたちがいることを知り、自分たちもがんばろうという思いをもつことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語での交流の難しさ。文字データだけで交流する食い違いの大きさを感じた。国際交流は難しいという印象が強く残った。 スカイプでのテレビ会議や相手からの英語のリクエストに応えているうちに英語でのコミュニケーションに少し自信がいった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	画用紙に自己紹介を書いた紙を持って、写真撮影。フォーラムのメールに添付して送った。画用紙には自分の名前と好きなもの、夢を書いた。	パキスタンの子どもたちに伝えるために意欲的に取り組んだ。パソコンを使って自分たちのよさを伝えようと絵やデザインを工夫していた。	総合
テーマ学習	10月～12月	10月は金沢の文化や歴史、自然など自国の魅力を紹介した。フォーラムの他、テレビ会議で自己紹介もした。お互いに歌も歌って交流した。	金沢のよさを紹介するために4年生までの学習したことをもう一度とらえ直し金沢のよさを再認識する機会になった。テレビ会議でもお互いの国の歌を歌っていた。	総合
構図決定	10月11月	フォーラムとテレビ会議(先生同士の)を通して、壁画の構図を話し合おうとしたがテロの影響で連絡がとれなくなった。町並み描くというテーマに決定した。	決定した構図に合わせて、描きたいものについてアイデアを集めた。実行委員を中心に下絵を作成した。連絡がとれなくなったので虹を描くというところですれ違いが生じた。	総合
壁画制作	11月12月	グループに分かれて、下絵、色塗りを分担し作業を行った。	モダン金沢エリアやトラディショナル金沢エリアなどエリアごとに分かれながら壁画を作成。放課後や休み時間もつぶして作品に没頭する子も見られた。	総合
鑑賞・振り返り	2月3月	相手から送られた作品と一緒に記念撮影をした。フォーラムにてその相手の国に送った。	パキスタンの小学生の絵の上手さに驚いていた。一人一人にカードが届いたことに喜びを感じていた。虹が描いていなかったことは残念がっていた。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	今まで当たり前だと思っていたことが、違う文化と比べることで当たり前ではないことが分かった。より深い気づきがあった。
異文化の理解	A	4	外国は遠くて自分には関係ないと思っていたのが、自分事として感じられたことが交流した最も大きな意義だったと思う。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	スカイプを通じたテレビ会議では、パキスタンの小学生へ思いを伝えようと工夫していた。画像が粗いのが残念だった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	多くの情報から精選することには課題が残った。しかし、意欲的に調べることはできた。パソコンの扱いは上手になった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	実行委員を中心にグループごとに活動しきずなが深まった。交流相手との交流は1対1で少し深まった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	壁画作成の時は自分たちで描くエリアを分担しながら、仕上げる事ができていた。実行委員が中心にデザインを考えるなど協力
学習を追究する意欲	C	2	調べ学習が進むうちに新たな疑問が出てきて、さらに進む子もいた。しかし、言葉の意味が分からずあきらめる子も多かった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	3	金沢の自然や文化、名所を壁画に描いた。ビデオで壁画を説明するときもがんばって英語を使っていた。
作品を鑑賞する力	C	2	パキスタンから届いた壁画を鑑賞した。相手の絵のレベルに驚く子が多かった。虹が描いてないのを残念がる子もいた。